

「研究の進め方」講演会

8/30(木)東京大学生産技術研究所の川越至桜先生を招いて、1学年を対象に「研究の進め方」講演会を行いました。1年後期から始まる課題研究に向けて、研究に対する心構えや取り組み方を学びました。



＜生徒の感想＞

・研究はPlan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)のくり返しで、仮説を立てることが大切ということを知りました。特に、Action(改善)が必要だと感じました。発表し、意見をもらい、また研究をする。この流れが重要であると思いました。

・知識をもとにいろいろなものを生み出して、社会を創造していくことが大切。自分の力で、想像するだけで終わらせず具現化する。仮説を立ててサイクルをもとに何度も繰り返し、課題からまた課題を発見していくことも大切。物事や自分の考えを客観的に見ることも大事。失敗から次につなげる。

・これからの社会はグローバル規模の知識が必要。科学技術は理系分野だけでなく文系も必要になってきている。これからの社会に必要なのは、知の探究・知の実践・知の実装＋創造性。まずはSSHの取り組みを真剣に(役に立つ!!!)。

